

2-3.通りの活用に関する意見交換



① オープンカフェ(新宿区)



② マルシェ(渋谷区)



③ プレイパーク(豊田市)



④ ストリートパフォーマンス(各所)



⑤ 演劇(三鷹市)



⑥ イルミネーション(横浜市)

通りを楽しめる場にする

- ・沿道商店が参加可能なオープンカフェを設ける(①)
- ・露店を設ける(②)
- ・昼はマルシェ、夜はBARや屋台+バンド演奏といった店を設ける(①②)
- ・サックスを聴きながら飲みたい

常に「何かがある」期待感を抱ける通り

- ・ストリートパフォーマンスには「何かやっている」期待感がある(④)
- ・簡易なイベントステージを設け、ストリートミュージシャンの演奏場とする
- ・土日は発表の場所として使用する(ベリーダンス、よさこい、おやじダンサーズ等)(⑤)
- ・夏に氷の彫刻を展示する
- ・プロを呼び、一般の市民も参加できるイベントを開く
- ・週ごとに、いろんなイベントを行いたい

市民のノウハウを生かす活動の場

- ・土、日や長期休みに子供たちと木工作り、石鹸作りを行いたい(③)
- ・家の中では音や道具の問題が生じる活動が行える場所になると良い(③)
- ・自然と、何かを教えてくれる人がいる場所になると良い

出店者の通りへの貢献

- ・出店者には掃除等で掃除をしてもらう
- ・出店場所は飲食店の店先が好ましい
- ・物販やワゴンで雑貨を販売する
- ・通りの使用料は無料か、有料か。様子を見て有料化が望ましいのではないか

柏の資源を活用・発信する通り

- ・道路でフリーマーケットを行うことで、市民が楽しんで参加、交流できる場となる
- ・マルシェで柏の地元産の食材を扱うと良い(②)
- ・週末は「柏」を市内外の方に知ってもらう場にした
- ・レイソルカラー(白と黄色)でアピールしたい
- ・ハウディモールに八百屋があるので、営業時間などに配慮する必要がある

ロコミで話題になるイルミネーション

- ・イルミネーションを更に発展させていきたい(⑥)
- ・夜も人が来る街にしたい
- ・デッキ上からイルミネーションを見られることが、ハウディモールの特徴である(⑥)
- ・SNSで発信、拡散することによって、市内外から人を呼びたい



1-1.第3回「ハウディモールの将来像を考える」ワークショップを開催しました

ワークショップについて

市では、柏駅周辺の街の魅力度とポテンシャルの向上等を目指し、「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」を策定しました。この計画に基づき、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と一緒に検討していくためのワークショップ第3回を、平成28年2月26日(金)に開催しました。

ハウディモールの整備コンセプトや樹木、通りの活用について、整備イメージや参考となる事例をもとに意見交換を行い、整備の方向性を共有しました。

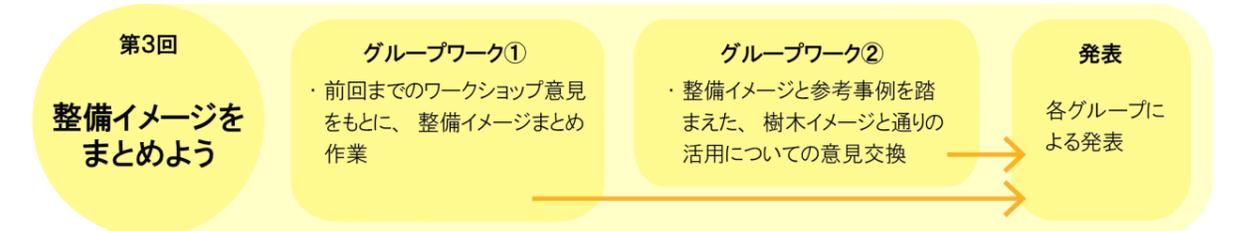
平成28年度は、平成27年度のワークショップの成果を引き継ぎながら、より具体的なテーマの下で、整備についての検討を進めるためのワークショップの開催を予定しています。



発表の様子

2-1.ワークショップ内容

第3回のテーマ・内容



「多様な活用を許容する使いやすさと賑わいを兼ねそろえたハウディモール」という仮コンセプトと、それに基づく整備イメージについて、樹木や活用のイメージも踏まえながら、意見交換を行いました。

各班でコンセプトを検討

街路樹のイメージを膨らませ、考え方を共有化

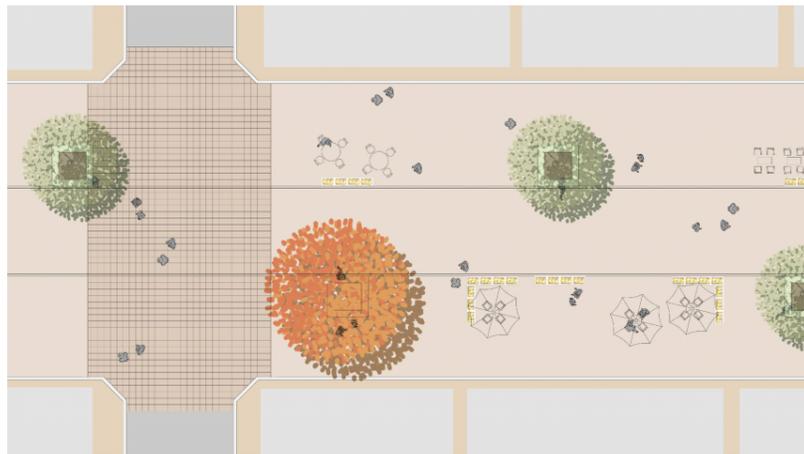
空間のイメージを具体的に確認

活用アイデアを共有化

2-2.整備イメージについての意見交換

前回までのワークショップ意見を基に作成された整備イメージについて意見交換を行いました。

多様な活用を許容する使いやすさと賑わいを兼ねそろえた ハウディモール



コンセプトについて

- ・「期待感」や「発見」といった言葉やニュアンスを、キーワードとして入れたい
- ・「憩いの場所」のようなイメージをハウディモールに持たせたい
- ・ハウディモールを「心地よい空間」にしたいという思いを込めたい
- ・「許容する」は言葉として堅い

整備イメージについて

- ・居心地の良さが重要である
- ・建物は2Fの活動が見える設えが良い
- ・歩行者専用化のマイナス面が大きいと判明した場合は、すぐに戻せるように考えて、整備する
- ・緊急車両の通行ができるように配慮する

通りの将来像について

- ・マンネリ化させないことが重要である
- ・機能性と、情緒性のバランスが重要である
- ・家賃が高すぎると、面白い店が入って来られない。ハングリー精神を持った、チャレンジショップ等が入れると良い。

シンボルツリーのイメージ例



ナンキンハゼ



コブシ



イチョウ



シラカシ



サクラ



クロガネモチ

並木のイメージ例



トウカエデ



サルスベリ



ハナミズキ



キンモクセイ



シマトネリコ



マテバシイ

緑豊かな樹木で通りをイメージづけ

- ・シンボルツリーとして植えるのであれば、緑が豊かな樹木が良い

- ・くすの木のように堂々としている樹木が良い

特徴のある樹木で通りをイメージづけ

- ・特徴のある樹木でイメージ付け
- ・シダレヤナギは形状が面白いので、通りのシンボルツリーとしては良さそう

シンボルツリーを引き立てる並木

- ・あまり大きくならない、シンボルと対をなす樹木が良い
- ・並木は見通しの良い樹木が防犯上良い
- ・シンボルが目立つよう、控えめかつ見通しが良いほうが好まれる。

香りによる季節感づくり

- ・キンモクセイの香りは季節感を感じさせる
- ・強いにおいは好ましくない
- ・香りには人の好き嫌いがある。
- ・シンボルツリーの樹木も、並木の樹木も、常緑樹なら香りの特徴づけたい
- ・匂いが出る期間は、2~3週程度だろう。

管理しやすい樹木

- ・清掃とセットで考えるべきである
- ・落葉樹は掃除が大変である
- ・シンボルなら落葉でも良いと感じる
- ・桜は、虫がつくので好ましくない
- ・腐りづらく、折れづらい木が良い
- ・通行の邪魔にならないよう剪定に強い木が良い